

# 交通事故防止対策優良事業場表彰を受賞して 東京外かく環状道路（千葉県区間） 田尻地区函渠工事

株式会社奥村組 東日本支社 外環田尻工事所  
田尻地区函渠工事  
現場代理人 久保田雅之

## 1. はじめに

この度、社団法人日本建設業連合会安全対策本部安全委員会より、栄えある交通事故防止対策優良事業場の表彰を賜り、誠にありがとうございました。これもひとえに安全委員会交通対策部会をはじめ、発注者である国土交通省関東地方整備局ならびに関係各位のご支援、ご指導の賜物と厚く感謝申し上げます。

## 2. 工事概要および周辺環境

「東京外かく環状道路」は、東京都心から半径約 15km のエリアを環状に連絡する延長約 85km の幹線道路です。本事業はこの環状道路整備を行うことで、都心を通過するだけの交通を減らし、首都圏の渋滞を緩和することを目的としています。

当社が担当する工事は、東京都・千葉県境（千葉県松戸市小山）から国道 357 号に接続する高谷ジャンクション（千葉県市川市高谷）に至る延長約 12km の東京外かく環状道路（千葉県区間）のうち、田尻地区における延長約 100m 区間において、最大内空幅 25m、高さ 7.7m の掘削スリット式箱型函渠を構築するものです。

工事範囲は、閑静な住宅街に隣接し、函渠の築造方向に一般国道 298 号が縦断しています。さらに、住民の方々が利用される歩道も中央部を横断しています。

このような状況下において、工事の進捗に応じて道路の切り回しが度々発生するため、道路線形の変更に対する交通災害防止対策ならびに周辺地域に配慮した施工が常時求められます。

なお、現在、掘削作業および土留支保工の設置作業を行っているところであり、平成 24 年 2 月末までの約半年間で、約 50,000 m<sup>3</sup>の掘削残土をダンプトラックにより搬出する予定です。



田尻地区函渠工事全景

## 3. 交通事故防止対策

### (1) 電光式予告看板の設置

#### （切り回し時の事前情報の提供）

普段から通り慣れている道路が、切り回しによって突然変わることは、ドライバーに大きな戸惑いを与え、交通事故発生の要因の 1 つとなる可能性もあります。

そこで、道路切り回しの約 1 ヶ月前から電光式の予告看板を設置することで、切り回し情報を早いうちからインプットしてもらうよう取り組んでいます。



電光式予告看板

## (2) ガードマン表示板の設置

### (切り直し端部のカーブにおける注意喚起)

道路切り直しの始点部および終点部に、夜間や雨天時においても視認性の高いLED内照式の大形道路標識（ガードマン表示板）を設置し、カーブで減速してもらえよう注意喚起をしています。

## (3) 締結式覆工板の採用

### (車両走行時の舗装損傷防止、振動・騒音の低減)

工事範囲内を縦断する国道は、路面覆工の上にはアスファルト舗装した構造としています。締結式覆工板（四隅を締結グリップにより受桁に固定）を採用することにより、車両通行時の覆工板のがたつきによる舗装の損傷防止や振動・騒音発生の低減を図っています。

## (4) 過積載防止ルール、交通安全マップの掲示

### (工事関係者の安全意識の向上)

掘削残土運搬時の交通安全対策として、バケットの積み込み回数や荷姿図等、過積載防止に関する留意事項のほか、走行ルート上の危険箇所や注意箇所を分かりやすく記載した交通安全マップ等を工事所内に掲示し、工事関係者の安全意識の向上に努めています。



交通安全マップ等の掲示

## (5) 重機接触防止の工夫

### (機械と作業員との接触防止措置の見える化)

覆工板上に描画したトラフィックペイントやカラーコーン・バー（赤・緑・黄色）の色分けによる立入禁止措置により、視覚的に分かりやすく安全通路と作業エリアを区分けしています。また、バックホウにバックガイドモニターを取り付け、運転席のモニターで後方を確認できるようにすることで、重機と作業員や（仮設）構

造物との接触防止に取り組んでいます。

## (6) 歩行者通路用ガードボックスの設置

### (歩行者への配慮)

工事範囲の中央部を横断する歩行者通路の一部にガードボックスを設置し、歩行者を飛来物や泥の飛散等から守る配慮をしています。

なお、ガードボックスは側面を網掛けにした構造なので、周囲の見通しが利き、歩行者に作業内容や工事の進捗状況を見ていただくことができます。



歩行者通路用ガードボックス

## (7) 青色蛍光灯の設置

### (夜間走行車両への安心感の提供)

工事範囲周辺の道路、歩道沿いに青色蛍光灯を設置しています。青色は、夜間は他の色と比べ明るく浮き出て、見通しがよく遠目が効くという特長とともに、人を『落ち着かせる』『冷静にさせる』効果もあると言われています。

作業帯を青く浮かび上がらせることにより、ドライバーに安全運転を促しつつ、地域の防犯活動にも寄与できるよう努めています。

## 4. おわりに

平成23年12月現在、工事の進捗は50%で、無災害時間が10万時間を越えました。今後も『最後まで一人ひとりが絶対にけがをしないという強い意志を持ち全工期無災害を達成する』という基本方針のもと、安全に対する意識をさらに高めていくとともに、周辺地域に配慮した施工を行って参ります。今後とも、日本建設業連合会安全委員会をはじめ関係者の皆様方には一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。